

第2回学習会

みんなで出した！滋賀の未来アイデア

2025年10月4日（土）

滋賀県
子ども県議会
事務局発行 / No.5



この日は、子どもたちが「滋賀県の課題」について自分たちの考えを出し合い、関心のあるテーマを選んでグループをつくる活動を行いました。付箋を使って意見を整理したり、模造紙にまとめたりしながら、それぞれの視点から滋賀県の未来を考える時間となりました。

学年ごとに「滋賀県の課題」を出し合う

この日はまず、各学年ごとに分かれて「滋賀県の課題」について意見を出し合いました。「人口減少」「交通の便」「環境保全」「地域のつながり」など、子どもたちから多様なテーマがあがり、滋賀県の現状を自分たちの視点で出し合う時間となりました。



付箋を使って意見を整理し、模造紙にまとめる

出し合った意見を付箋に書いて模造紙に貼りながら整理しました。似ている意見をまとめたり、異なる考えを比べたりして、「みんなの意見を聞いてテーマが決まってよかった」「共感や反論をしながらより良い考えにできた」と、話し合いを通してお互いの考えを深める姿が見られました。「思っていたアイデアは意外とうまくいかなかったけど、違う意味でいけた」という感想もあり、意見を形にしていく難しさと面白さを体験したようです。



テーマを絞り各チームで話し合う

話し合いを重ねる中で、「環境」「防災」「働き方」「図書館」「観光」など、それぞれの関心をもとにしたテーマが見えてきました。「びわ湖の課題をみんなで考えて、意見を出し合った」「動物と人間の共生について考えた」「交通について便を増やすなどの案が出た」「スポーツや平和について意見を深めた」などのチームも、滋賀をもっと良くするための方向性を自分たちの言葉で整理していました。



次回に向けて

次回はいよいよ、今回決まったグループやテーマをもとに提案文の作成に入ります。

今回の活動を通して少しづつ課題の方向性が見え始め、「次は意見を一つにまとめたい」

「もっと詳しく調べたい」といった声も聞かれました。今後は、調べ学習や話し合いを通して内容を深めながら、一人ひとりの意見をつなげていく段階に入っていきます。